

あなたは、あなたのままで素晴らしい!

すべてのいのちに「愛」を注ぐ真実の物語

ドキュメンタリー映画

1/4の奇跡

～本当のことだから～

養護学校教諭 かつこちゃんこと
山元加津子さんと、子ども達との
心のあたたまるつながり
人はなぜ完全ではないのか?
宇宙はなぜ完全ではないのか?
今、解きあかされていく
いのちの神秘



映画の情報が詳しく載っています

<http://www.yonbunnoichi.net>

★ドキュメンタリー映画上映会&講演会★

養護学校教諭 山元加津子さんは、子ども達との交流を通じて、「みんな理由があって生まれてきた大切な存在。そのまんまで、素晴らしい存在なんだ」と確信しはじめる。そして、「病気や障害にも理由があって、とても大切なんだ」ということも。あなたのいのちの鍵をそっとあける愛に満ちたドキュメンタリー。

《日時》

平成26年8月24日(日)

・開場13:00 ・上映13:30 ・講演15:20

《場所》

エル・パーク 6F スタジオホール

《参加費》

(映画)1500円 (講演)1500円

《振込先》

ゆうちょ銀行 02210-5-137819

(加入者名) ときめきバリアブレイカーズ

他行等からの振込の場合

(店名) 仙台長町三

(店番)229 当座 0137819

加津子さんの生徒だった雪絵ちゃんの詩をご紹介します。彼女はMS(多発性硬化症)という病気になりました。時間が経つにつれ、目が見えなくなったり、体が動かなくなる病気です。

「ありがとう」

私決めている事があるの。

この目が物をうつさなくなったら目に、
そしてこの足が動かなくなったら足に、
「ありがとう」って言おうって決めているの。

今まで見えにくい目が一所懸命見よう、
見ようとしてくれて、
私を喜ばせてくれたんだもん。
いっぱいいろんな物、素敵な物、見せてくれた。
夜の道も暗いのにがんばってくれた。

足もそう。私のために信じられないほど
歩いてくれた。
一緒にいっぱいいろんな所へ行った。
私を1日でも長く、喜ばせようとして
目も足もがんばってくれた。

なのに、見えなくなったり歩けなくなったとき、
「なんでよー」なんて言ってはあんまりだと思う。

今まで弱い弱い目、足がどれだけ
私を強く強くしてくれたか。
だからちゃんと「ありがとう」っていうの。
大好きな目、足だから、
こんなに弱いけど大好きだから
「ありがとう。もういいよ。休もうね」
って言ってあげるの。
多分誰よりも疲れていると思うので。



山元加津子 (やまもと かつこ)

石川県立明和養護学校教諭。
教師と生徒という関係ではなく、障害を持った子ども達を、かけがえのないお友達と呼んで、心の交流を続けている。
その精神で心温まる触れ合いを語る彼女の講演は評判となり、多くの人の魂を揺さぶり続けている。
著作には、「ゆうさくんの涙」「たんぼぼの仲間たち」「魔女・モナの物語」「さいちゃん」「本当のことだから」などがある。

主催:ときめきバリアブレイカーズ

申し込みお問合せ:

CIL たすけっと 022-248-6054
ciltasukettosalon@yahoo.co.jp